

# I. 令和2年度 各会計決算の概要

令和2年度は、歌志内市総合計画後期基本計画並びに第2期総合戦略のスタートの年であり、今後のまちづくりの決意を示す節目の年として、効果や成果を重視した事業の選択と集中を徹底し、本市がより魅力的なまちとなるため、義務教育学校整備事業をはじめとする「より良い教育環境の整備」、防災資機材の充実による「未来を創る強靱なまちづくり」、従前から実施している子ども医療費の無料化や高齢者の外出支援に加え、インフルエンザ予防接種の全額助成対象の拡大やがん検診項目の拡充・健康診査の無料化等による「子育て世代へのサポート、超高齢化社会への挑戦」、長寿命化計画に基づく市営住宅の解体除却や設備更新などの「コンパクトシティによる快適な住環境の整備」、産業の多様化に向けて取り組んでいるワイン用試験栽培事業や市民の消費喚起による地域経済の活性化を目的としたプレミアム付商品券発行事業による「人が、企業が集うまちづくり」など、歌志内の将来を見据えた重点プロジェクトを着実に推進しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ結果、令和2年度決算の規模は前年度に比べ大幅な増となりました。

## 1. 決算規模及び収支の状況

一般会計以下4会計における歳入歳出決算の総額は、歳入54億2,778万5千円、歳出52億1,216万9千円で、2億1,561万6千円の黒字となりました。前年度と比較し、歳入で7億5,554万3千円、16.2%の増、歳出で7億3,561万3千円、16.4%の増となりました。

各会計別の収支は、一般会計で2億1,062万7千円、国民健康保険特別会計で489万円、後期高齢者医療特別会計で99千円の黒字となりました。

市営公共下水道特別会計は、一般会計繰入金により収支の均衡を図っています。

## 2. 歳入歳出の状況

### (1) 一般会計

歳入増となった主な科目は、国庫支出金6億6,089万4千円（対前年度比172.5%）、地方交付税8,595万7千円（同3.5%）、市債8,544万7千円（同48.2%）などで前年度を上回りました。

その内訳としては、国庫支出金は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、特別定額給付金給付事業費補助金などコロナ対策に係る各種補助金等の皆増、地方交付税は地域社会再生事業費の創設等に伴う普通交付税の増、市債は義務教育学校整備事業債等の増となっています。

一方、歳入減となった主な科目は、道支出金1,542万9千円（対前年度比△10.0%）、寄附金1,163万2千円（同△59.6%）、諸収入789万8千円（同△3.8%）などで前年度を下回りました。

その内訳としては、道支出金は子ども・子育て支援事業費補助金の皆減、治山事業費補助金の皆減、参議院議員選挙費委託金の皆減、寄附金は一般寄附金の減、諸収入は介護サービス収入の減、プレミアム付商品券売払収入の皆減となっています。

歳出（性質別分析）では、投資的経費が5億3,259万3千円（構成比11.1%）、義務的経費が20億1,029万7千円（同41.8%）、その他の経費が22億6,763万7千円（同47.1%）となっています。

前年度との比較では、投資的経費が2億4,339万7千円（対前年度比84.2%）の増、義務的経費が456万6千円（同0.2%）の増、その他の経費が5億6,994万6千円（同33.6%）の増となりました。

投資的経費の増は、義務教育学校整備事業における歌志内中学校の施設改修費の増によるもので、その他の経費の増は、特別定額給付金給付事業をはじめとする新型コロナウイルス感染症対策に係る各種事業の増によるものです。

### (2) 特別会計

3会計合わせて歳入総額は4億663万1千円で、前年度と比較して7,963万4千円（対前年度比△16.4%）の減で、その主な要因は、市営公共下水道特別会計における繰入金及び社会資本整備総合交付金の減のほか、市営神威岳観光特別会計の廃止によるものです。

歳出は、投資的経費が948万4千円（対前年度比△75.3%）、義務的経費が1億8,969万3千円（同△11.0%）、その他の経費が2億246万5千円（同△12.9%）、総額4億164万2千円で、前年度と比較して8,229万6千円（同△17.0%）となっており、投資的経費が減となった主な要因は、市営公共下水道特別会計における公共下水道建設工事の減、義務的経費の減の主な要因は、市営公共下水道特別会計における公債費の減、その他経費の減の主な要因は、国民健康保険特別会計における広域連合負担金及び積立金の減によるものです。

### 3. 財政構造（普通会計ベース）

指数面では、財政の弾力性を測定する経常収支比率は91.4%（前年度96.3%）、財政力の強弱を示す財政力指数は0.110（同0.110）、公債費比率は4.4%（同6.6%）です。

また、地方債の元利償還金に加え、下水道等の公営企業が支払う元利償還金への一般会計繰出金などを含めて算出した実質公債費比率は11.2%（同13.9%）です。

### 4. 投資的事業（1件 1,000万円以上）

庁舎エアコン設置工事、観光施設活性化推進事業によるチロルの湯改修、改良住宅解体除却、屋上防水・外壁塗装、ボイラー取替、市営住宅ボイラー取替、歌志内中学校施設改修、歌志内中学校通信ネットワーク環境施設整備事業

## 5. 各会計補正予算

(単位：千円)

会計別	当初予算額	補正予算額	最終予算額	補正回数	伸び率 %
一般会計	4,076,000	931,763	5,007,763	9 <small>うち 専決</small> 1	22.9
市営公共下水道特別会計	221,000	△1,083	219,917	1	△0.5
国民健康保険特別会計	91,000	14,475	105,475	1	15.9
後期高齢者医療特別会計	86,000	453	86,453	2	0.5
合計	4,474,000	945,608	5,419,608	13 <small>うち 専決</small> 1	21.1

## 6. 各会計決算総括表

(単位：千円)

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	5,021,154	4,810,527	210,627
市営公共下水道特別会計	217,377	217,377	0
国民健康保険特別会計	104,395	99,505	4,890
後期高齢者医療特別会計	84,859	84,760	99
合計	5,427,785	5,212,169	215,616

## 7. 各会計予算と決算の状況

(単位：千円)

会計別	区分	予算現額 A	決算額 B	増減 B-A	執行率 B/A%
一般会計	歳入	5,048,498	5,021,154	△27,344	99.5
	歳出	(40,735)	4,810,527	△237,971	95.3
市営公共下水道特別会計	歳入	219,917	217,377	△2,540	98.8
	歳出		217,377	△2,540	98.8
国民健康保険特別会計	歳入	105,475	104,395	△1,080	99.0
	歳出		99,505	△5,970	94.3
後期高齢者医療特別会計	歳入	86,453	84,859	△1,594	98.2
	歳出		84,760	△1,693	98.0
合計	歳入	5,460,343	5,427,785	△32,558	99.4
	歳出	(40,735)	5,212,169	△248,174	95.5

※予算現額A欄下段の( )は、繰越明許・事故繰越繰越額の内数です。